

令和3年第12回教育委員会定例会議事録

招集日時 令和3年12月23日（木曜日）午前10時開会／午前11時50分閉会

招集場所 加賀市民会館2階 第2会議室

教育長 山田利明

出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、佐野明子

会議列席者 梶谷事務局長、公下次長兼学校指導課長、宮永次長兼教育庶務課長、上出生涯学習課長、池端中央図書館長、山下山中図書館長、左古教育総合支援センター所長、田中スポーツ推進課長、重谷教育庶務課リーダー

令和3年第12回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○山田教育長 今年最後の定例会になりました。昨日の新聞を見ると、文部科学省が新しい先生方の増員ということで、1,030人の増員と出ていたと思います。働き方改革ということで、小学校の教科担任制を国が進めようとしています。その1,030人のうちの950人を小学校の教科担任制へ、950人というと石川県に来るのはだいたい100分の1なので9.5人。なので加賀市には来るか来ないかという状況かと思えます。国も真剣にそういうことに予算をとってやってくれているということです。そして35人学級のために、全国で3,290人の増員ということも出ていました。国が教育にお金を投じてくれている、増額されているということで知っておいていただきたいと思えます。

また12月議会が終わりましたが、今回は非常に教育委員会に対する質問が多かったです。あとで報告事項にもありますが、私も18回答弁に立ちました。その主な内容というのは、中学生学力向上特別学習事業の学習塾による公営塾について、前回の教育委員会で委員さんが質問されたことのもう少し詳しい内容が質問されたということです。

あと加賀市では昨年から中学校でSTEAM教育を進めておりまして、昨年は東和中学校が推進校ということで、第1回目を行ないましたが、あのときは何をしようかというところにごく時間がかかっていて、実際の発表はこれからかなというところでしたけど、今年はもう6校の発表が終わりました。片山津中学校と橋立中学校の発表を見せていただきましたが、片山津中学校は高校でやるような探求みたいなことをやっていたかなと思います。課題を見つけて自分たちなりに案を出して、そしてそれを動画に収めて発表するというようなことで、すごくクオリティも高かったかなと思います。加賀市のSTEAM教育も確実に進んでいるかなと思いました。橋立中学校は動画作りに注力されていて、その中で地域の課題を見つけてまたその次に進んでいるのかなと思いました。来年またさらに良い学習ができたらいかなと思います。

最後に先週の二宮金次郎の映画ですが、私も見せていただいて、こちらもあとで報告があると思いますが、200人余りの市民の方に参加していただいて、アンケートでの反応もおおむね良好ということで、これからもいろんな事業がありますけれども、確実に一步一步進めていきたいというふうに思っております。

それでは議件に入ります。本日審議事項は1件です。議案第31号、加賀市教育委員会事務決

裁規程の一部改正について宮永次長お願いいたします。

- 議案第31号 加賀市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
宮永次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 6ページなんですが、4条の3で決裁に関して、局長、局次長と順番に下がってくるんですが、「局次長が不在のときは、その事務を主管する課長又はマネジャー以下」とありますけれども、このマネジャーという役職について何名かいらっしゃるんでしょうか。

○山田教育長 宮永次長、お願いいたします。

○宮永次長 現在のところ、政策戦略部のスマートシティ課がマネジャーになっております。あとはマネジャーという職は今のところないです。今後広がっていくと思うんですが、スマートシティ課の中には課長はおらず、すべてマネジャーというかたちになっております。1課だけかと思えます。

○山下委員 今のところそういう状況であれば、今後増える可能性もあると思えます。4の課長等の決裁については、「複数のリーダーの配置がある課においてはあらかじめ課長が指名したリーダー」というふうに定めてあります。マネジャーが複数になった場合も、そういう附則の文言が必要ではないかと思われますので、次の改正があるときには検討をいただきたいと思えます。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは議案第31号、加賀市教育委員会事務決裁規程の一部改正について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決といたします。以上で審議事項は終わります。

続いて報告事項に入ります。報告第63号、令和3年12月加賀市議会定例会の答弁について宮永次長お願いいたします。

- 報告第63号 令和3年12月加賀市議会定例会の答弁について
宮永次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 中学生学力向上特別学習事業について、もうそろそろ募集が始まったのではないかと思います。いつ申し込みが締め切りになるのかということと、現状ではどのくらいの生徒たちが応募されているのかということがわかれば教えてください。

○山田教育長 宮永次長、お願いします。

○宮永次長 市内のインターネット等に掲載されている塾、把握できる限りで英会話教室も含めまして30数カ所ご案内をさせていただきました。ただし数学、国語を教えることができる、集団での講義ができるというような条件の中で、どの時間で教えられるか、参画する意思がありますかなど調査を行っております。その中で参画できるという事業者さんが8事業者くら

い、また説明会もさせていただきますので、それを聞いた上でのという事業者さんが8社いらっしゃると思います。明日、説明会をさせていただいて、学校指導課と教育庶務課で相談しながら今後進めていくんですが、思いとしては、まずは説明をしてできるかということも確認した上で、年明け早々に各塾それぞれに割り当てで、この学校はA塾、この学校はB塾というかたちでできないかという想定をしております。その中で年明けくらいから生徒さんの募集を学校を通じてさせていただいてというところです。その説明会のときに先ほど議会でも答弁させていただいたルール等も、例えば他の塾のやり方に干渉したらだめですよとか、教えている中で自分の塾への勧誘はダメですよとか、そういったルールを皆さんで共有しながらというところで、できれば2月当初からというところはあるんですけども、状況も踏まえて2月の第2週目くらいから授業ができないかなと思っております。今のところ塾には文章だけの通知ですので、一旦皆さんのご意見もいただきながらの状況でございます。

○篠原委員　まだ募集していないということがわかったんですけど、前回のときには塾の応募に手を挙げられた事業者の方を集めて組織を作ったというお話だったかと思います。例えば8事業者がいて、その中で説明をして、最終的には何業者が残るかわかりませんが、その中で学力向上の塾を担当される組織としていかれるということで、その中で塾の中の代表者を作って、それぞれに指示されていくということになるんですか。組織はどういうかたちになるんですか。

○宮永次長　説明会の状況にもよりますが、実証的に行なうというところもあり、いきなり組織の規約を作ったりは一般の塾の方ではできないと思うので、教育委員会の事務局の方でこの塾の団体の事務局を持ちつつ、まずは運営をしていって、その中で軌道に乗ってきたら少しずつ塾の方ということで、塾のいろんな経営方針ややり方があると思うので、議会の質問でも偏らないように平等にということもご指摘をいただいているので、まずは教育委員会がお世話をしつつと思っているところです。代表者もまずは例えば教育長で教育委員会が実証的に運営して、そこから民間の塾の皆さんに事務的なことを任すということも考えていければと思います。その辺の提案も含めて塾の皆さんとの説明会で、意見交換の中で固めていきたいというふうに思っております。

○篠原委員　例えば事務局案として、教育長さんを塾長というかたちで、教育委員会を事務局として、実際に働いていただける講師の方を各塾の方から選んでいただくという組織にするのか、しないのかということとか。あるいは今回は2月、3月で先導的にやってみようということなので、来年度も継続してやっていくということで予算要求もされていくと思うんですが、せめて1年2年継続してやっていかないと、いわゆるどのような効果が上がってきたかの検証ができないと思うんです。それも踏まえて明日、説明会があるということですが、組織的なものはまだないんですか。

○宮永次長　組織的なものは今の時点ではないです。明日お話しする中でというところで、規約も作っていきます。

○篠原委員　組織は皆さんで話し合いをして決めるということですか。例えば塾の講師の方がいらっしゃるっていきなり組織をどうするかと言われてもわからないと思うので、事務局案は何かないですかとなるんじゃないかと思うんですが、今のお話でしたら組織もまだないということでしたので驚いています。

○宮永次長　例えば組織の名称であったり、団体をどうするか事務局の所在をどうするかとい

うことだけは固めさせていただいて、その上で8社のスケジュール的なことも含めてそれぞれ個別に年明けから話し合いする中で、規約をそれまでに作りまして、規約といっても教え方がどうか細かいものではなく、会議の会計をどうするかとか、そういった大まかな決め事になってきますので、本来塾の方と行わなければならない、こういった教え方をするとか、どの時間帯にするとか、部活をはずす、塾の営業時間をはずすとか、講師は手配できるのかとか、例えば早朝に朝塾みたいなことも提案される場所も出てくると思うので、そういったやり方はみんな集まってはなかなか難しいと思います。個別に相談をしていかないといけないかなという中で、規約の方もこういうふうになりましたということの確認になるのかなと思います。ですから明日いきなり規約はこれでいきますということではなくて、まず明日は教育委員会の方針を説明して、いろんなご意見を伺う中でスケジュールの方もお示ししてということになるかと思います。なので細かいところを明日全部決めるという会ではないです。

○篠原委員 一般的には組織の名前があって、事務局があってとなりますよね。個別にそれぞれの塾の実情がありますから、例えば朝しかできないとか、夕方この時間しかできないとか、それは構わないと思うんです。それを調整するのが事務局になると思うんですが、そういうことは教育庶務課が中心になって行われるということによろしいですか。

○宮永次長 はい、事務的な会計処理等は教育庶務課です。

○篠原委員 今回は学校指導課というよりもどちらかというと、教育庶務課ベースで、実際の子ども達の指導はそれぞれの塾の講師さんの力量に任されるんじゃないかということが想像されます。やはり組織をきちんと作っておかないと、塾の方が勝手に独り歩きをされても困りますし、教育庶務課がイニシアティブをとって組織も名称も代表者もきちんとしたかたちでやらないとやはり心配なところがあります。方法についてはそれぞれお任せすることになると思うんですが、例えばA中学校がA塾で、B中学校がB塾というふうに今年はそうなると思いますが、来年度はA中学校をB塾にするとか、そういうかたちでローテーションをしていながら、やはり子ども達に同じような指導で偏らずにやっていただきたいと思います。成績が上がったり下がったりすると、この事業をした上では議会なんかでもご質問が出てくると思いますので、大変だと思いますが、よろしく願いいたします。

○宮永次長 塾の事情もあるので、やはり自分の塾の営業の時間がある中で、どこまでできるかというのを確認しながらということと、委員さんがおっしゃるように塾のやり方はそれぞれですので、担当する学校さんとの協議も必要になっていくかと思います。その中でカリキュラムのこともそうですし、授業で教える内容以外の事務的な調整も併せてやっていきたいと思っております。

○篠原委員 税金を使ってやっている無償塾なので、例えば東京で和田中学校がやられたような場所を提供して有料でやるのと全然違いますよね。公営塾に私塾の先生が関わってくるようになりますので、その点は十分に配慮していただきたいです。やはり公のお金を使ってやるということなので、今後、どういう効果があったのかということも市民の皆さんに見られていると思いますので、そこも十分に配慮をしていただきながら運用をお願いしたいと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 関連ですが、教育庶務課としては最終的に塾の先生と雇用契約を進めるかたちでしていただけたらいいんですが、学校指導課として、とりあえず今回は2月3月ですが、その

学習内容のカリキュラム的なものをなにかしら統一して考えていらっしゃるのかをお聞きたいです。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 2月3月ということで、学校の授業の方はほとんど進んでいますので、今共通の部分で各塾が取り組めるものは、例えば今までの学力調査の過去問を使って、塾の先生方は経験の中で子ども達がどういうところが苦手かを把握されている状況も聞いておりますので、そこをまず重点的にこの2月3月はやっていけないかということは今考えています。それぞれの勝手なカリキュラムとか教材ではなくて、今回は共通的な部分で進めていけないかと考えている最中でございます。

○山下委員 とりあえず2月3月は試行的にやられると思います。こちらは継続事業になると思いますので、募集の際に、次年度はこういうカリキュラムでやっていきますというのを示して募集するかたちがいいのではないかなという提案でございます。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 これは要望ですが、毎年年度末に事業点検があります。教育委員会には入っていませんが、文化振興課関係の議会の答弁についても併せて載せていただくと大変有難いと思います。そうすればそのご答弁を踏まえて年度末の事業検証のときにも役立つかなと思いますので、ご配慮をいただけないかなと思います。

○山田教育長 宮永次長、お願いします。

○宮永次長 審議事項や報告事項は文化振興課長がこちらに出席して説明しておりますので、今後、議会の文化振興課の答弁関係も報告させていただきたいと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第64号、令和3年度 小学校専科指導配置状況について公下次長お願いいたします。

- 報告第64号 令和3年度 小学校専科指導配置状況について
公下次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 令和4年度は国の方も完全に教科担任制を導入するということで、冒頭に教育長さんから、全国で950人、石川県には9.5人だから加賀市にはどうですかねとお話があったと思います。今見ますと、実際のところ小規模校にはなかなか入っていませんよね。結局そうなってくるといろいろな教育の格差が生じることもありますので、加賀市の教育委員会としてどのようなかたちで全小学校に専科教員を配置していくのか。そういう計画は今のところありますでしょうか。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 学校の規模と地域的な状況もありますので、今、こういうふうにして小さい学校に入れていくというはっきりした計画はありませんけれども、県の配置もどれくらいになっていくのかを見据えながらいこうと思います。また小規模校では今、市独自で講師の配置や、5、6年生で35人を超えるところにもきめ細やかなということで非常勤講師の配置などをしてお

ります。その辺に対しての対応は今後も継続していきたいと思っております。

○篠原委員 私自身は高学年における専科指導というのは大賛成です。やはり計画的に意図的に、きちんと小規模校であったとしても配置できるような体制を組んでいただきたいと思います。今は中規模校が主流になってきていますけれども、2教科以上というのでも県のガイドラインに出てくると思います。それも踏まえて県も配置するし、市としても教員配置できるような、これは掛け持ちでいいと思います。英語の教員みたいに拠点校を作っておいて、何校か掛け持ちしていただく、あるいは各学校の担任の先生方に、5、6年生なら5、6年で必ず何コマかを入れ替えて、教科担任のようなかたちにするような取組みをしてほしいという指導をぜひ教育委員会で行なっていただきたい。そうしないと何もしないまま終わってしまうことが起きますので、もちろん加配することによっていいこともあるかもしれませんが、持ち合いをどんどん進める中で、学校の中で意識変革をどんどんしていくことで指導力も向上していくと思うので、それも踏まえてこの件については積極的に取り組んでほしいというお願いであります。以上です。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 教科担任制について、次年度から完全実施ということでございます。年度末には教職員の異動があるわけですが、それに対して現在それぞれの学校の中で教科担任制を完全実施するにあたって、こういった教員は必要ですということを、例えば教育委員会がまとめて、それを異動担当である小松教育事務所なりに希望を出しているのか。それから異動の発表というのは、実際には新聞での発表なんですけど、それ以前に、次年度からの事業を進めるための早めの異動の情報をいただけるのかというのを、この場でお話しできることがあればお伺いしたいと思います。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 来年度の学校の運営や方向性というのは、各学校長さんと教育委員会でヒアリングをしながら話を進めているところです。ただ人事に関しては県の方が全体を見ながら人事配置をしておりますので、私どもは小松管内の方とも情報交換しながら、学校長さんが示した学校運営にできるだけ添えるようにしております。最終的には県の方の人事配置になってきますので、その点ですべてこちらのかたちにはなりませんけれども、こちらの考えは伝えていきます。ただ発表前というのは難しいので、私どもでは把握はできません。

○山下委員 特に今年に関しては完全移行前ですので、事前にある程度の情報が共有できれば、これはちょっと厳しいなという情報の交換はできるのではないかなという意見でございますので、もし上にあげる機会があれば、この切り替えの今年度くらいは少し情報交換できたらという希望があればということが意見でございます。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 先ほど加配ではなくて持ち合いを積極的に進めていただきたいと思いますとお話しましたが、現状ではどのようになっているのかも教えていただきたいです。そうでないとずるずると流れていってしまう可能性がありますので、積極的に5、6年生の担任はお互いに授業を入れ替えて、教科担任制のかたちが子ども達にもスムーズにできるように校内でも努力をしていただきたいです。そうしないと来年度以降、加配が来なかったからできなかったのでは困るので、校内での努力、現状の職員配置の中での努力も教育委員会の方で掴んでおいていただきながら、

次年度からみんなで子ども達を見ていくんだという姿勢、そしてそれぞれの先生方が自分が得意な教科の指導力を向上させていく狙いですね。それも踏まえてぜひ実態の調査もしていただけないかなと思います。これは要望でございます。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 65 号、令和 3 年度 加賀市中学校 S T E A M 教育について公下次長お願いいたします。

- 報告第 6 5 号 令和 3 年度 加賀市中学校 S T E A M 教育について
公下次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 先端テクノロジーの事業についてご質問したいんですが、非常に新しいことを取り入れて素晴らしい事業をされていると思うんですが、この VR 体験について、ある情報によると、三半規管の発達段階での中学生の VR は非常に影響があるということ、中には VR 酔いというかたちで気持ち悪くなってしまうなど、そういったお子さんが今回の体験でいらっしまったかだけ教えてください。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 今回の参加者で体調が悪くなった、気分が悪くなったなどの話は聞いておりません。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 S T E A M 教育についておたずねします。このテーマは加賀市のまちづくりが大きなテーマだということをお聞きしております。橋立中、片山津中、東和中、山代中、山中中はわかるんです。私も大聖寺のまちづくり活動をやっているんですが、錦城中学校が「地元の職業を未来につなげるための方策を考える」ということで、早い段階で発表をなさっています。結局これをやるためにはまちの方たちとコラボレーションしてやらないと、こういうことは意味がないんじゃないかと思えます。ですからそのことを当該中学校の方にお伝えしていただきたいです。それから先ほどのお話の中に、目的は小学校 4 年生から中学校 2 年生までの 5 年間でと書いてありますよね。なので今年度は中学校 2 年生だけに行なったんだと思いますが、これからは加賀市のまちづくりについていろんなことを調べたり、発表したり、あるいは参画したりすることが大変重要なウエイトを占めてくると思っていますので、小学校 4 年生から中学校 1 年生は今後どういうかたちでこの S T E A M 教育を導入されていくのか、その予定とタイムスケジュールみたいなものがありましたら教えていただきたいと思えます。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 まず地域の方とのつながりの部分で、錦城中学校はキャリア教育の部分で、毎年地域の方を呼んでお話を聞いて、職場体験的な話なんですけど、それと結びつけてやっております。今後も地域人材を活用しながらということは進めていきたいと思っております。それから S T E A M 教育の連携ですが、小学校 4 年生からというのは実はプログラミング的思考という部分での、育成の部分で 5 年間ということであってつなげてあります。いわゆるアワーオブコードから学年が上がってマイクロビットをして、そしてそれを使っていきながら加賀市の課題にどう

取り組んでいくか、ものづくりも含めてというSTEAMの流れになっておりますので、そういう点で4年生からということをお伝えしてあります。

○篠原委員 確認ですが、集大成として加賀市のまちづくりに貢献できるようにするという目的は、中学校2年生の段階になって完成するというふうに理解してよろしいですか。錦城中学校の地元の職業のことは何年も前からやっていることです。それはキャリア教育の中ではいいんですけど、今回STEAM教育で、他の中学校は「地域に住みたくなる」とか、「地域活性化に向けて」とか、「伝統産業や文化の取組を知る」とか、地域をこれからどうしていくのか非常に明確に出されているテーマだと思います。ですから地元の職業を未来に繋げるというのは、今までやっていたこととほとんど変わらないので、それがどう変わるのかということもぜひご指導していただきたいと思っております。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 STEAM教育を中学校で取り組む上で、プログラミング的思考から機器を使う上での思考的な部分の最終的な部分では中学校での発表に結びついております。ただSTEAMになりますと、そこからだいぶ発展してくるものもありますので、その基礎段階は小学校4年生からずっと上げていくという感覚で、最終的にはそこに結びつけるようにということになっております。またそれが高校とかそこに結びついていければと思っております。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第66号、山口謠司氏による講演会開催について公下次長お願いいたします。

- 報告第66号 山口謠司氏による講演会開催について
公下次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 今回の講演会は予定が合わず出られませんが、前回、元和田中学校の藤原先生の講演会が非常に良かったです。一方的に話を聞いているのではなくて、双方向でやれるような講演会が良いと思います。今回は人数制限があって、リモートでも参加されて、そういうこともこれから参考になるかと思えますし、校長先生と指導主事だけではなくて、やはり現場の先生に有効な講演会が必要だと思うんです。例えば中学校の国語の先生が見るとか、あるいはそういうことに興味関心が深い方にぜひ見てもらうような手立てをとれないかということも思っております。どうしても直接お話を聞くのと、校長先生の方からご報告を受けるのとでは、先生方の受け取り方が違いますので、そういう機会がもし持てるのであれば、そういうかたちの方策もとっていただければ大変有難いかなと思います。これは要望です。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 今まで教育委員になってからいくつか講演会があったんですけど、講演会で質疑応答というよりもその講演会自体をシンポジウムにして、その場にパネリストがいて意見交換ができ、それを我々が参考にする講演の方が非常に自分たちの実になると思っていますので、その辺を今後検討されたら、非常に実のあるものになるかと思えます。

○篠原委員 やはり主体的で対話的で深い学びということが盛んに言われていますので、それを現場の教員、校長先生方にも必ずわかっていたいただきたいです。従来の講演会のかたちは打破

していただきたい。こないだの藤原先生はこちらにどんどん質問を投げかけてくれる講演でしたよね。非常に感銘を受けたので、ああいうかたちが新しい講演のスタイルだと思っています。お話が一方的ではなくて双方向でやりとりができるような講演会を企画していただきたいです。よろしく願いいたします。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 67 号、令和 3 年度 出張コンピュータクラブハウスの開催結果について上出課長お願いいたします。

- 報告第 67 号 令和 3 年度 出張コンピュータクラブハウスの開催結果について
上出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 今、山代地区でも行われるとお聞きしまして大変嬉しく思っております。これを加賀市全体に、各中学校校区のところにも波及していただけないかなと思っております。せっかく素晴らしいスタッフと素晴らしい施設を持って、交流プラザさくらでやっていますけれども、やはりいろんな諸条件から大聖寺に通うことができない子ども達も大勢いると思います。中学生が少なかったと報告がありましたが、小学校低学年からコンピューターに親しむ、そして実際にプログラミングをやってみるという体験をすることによって、それがどんどん将来的には中学生の参加者につながるんじゃないかなと考えられますので、ぜひ次年度は大聖寺地区以外のところの各中学校校区で、このような出張コンピュータクラブハウスをしていただけないかなというお願いであります。

○山田教育長 上出課長、お願いします。

○上出課長 出張コンピュータクラブハウスについては、クラブハウス側と相談しながら進めていきたいと思っております。利用者につきましては、来年度の予算要求の段階ではありますけれども、移送サービスというかたちでクラブハウスの方に送っていくサービスができないかと考えております。どれくらい予算が付くかによって回れるところは決まってくるかと思っております、なるべくお金がかからないような方向で考えております。今回、中学生の参加が少なかったというのは、行なった場所が山中の児童センターですとか、動橋は公民館ですが児童センターが併設されているということで、若干低学年の子が多かったんじゃないかという意見は聞いております。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 この開催の案内はどのようにされたんでしょうか。

○山田教育長 上出課長、お願いします

○上出課長 10 歳から 18 歳までの対象となる年齢の方に、学校の方からチラシ配布しております。あとはクラブハウスのホームページですとか、児童館や公民館にチラシを配布する、そのようなかたちで周知いたしました。

○山下委員 中学生以上の利用が少ないということだったんですけど、例えばこの内容について案内するときに、これは小学生以上対象、これは中学生以上対象というふうに分けて、時間を分けるとかして、友達がいれば割と一緒に来ると思うので、そういう開催の仕方もあるんじ

ゃないかと思いましたが。これは意見でございます。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 68 号、令和 3 年度 嶋田うれ葉 講演会の開催結果について上出課長お願いいたします。

- 報告第 68 号 令和 3 年度 嶋田うれ葉 講演会の開催結果について
上出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

以上で当初の報告事項は終わりましたが、事務局から追加の報告はございますか。

○上出課長 生涯学習課から「二宮金次郎」の映画上映会について報告いたします。生涯学習の一環として 12 月 18 日土曜日に市民会館 3 階の大ホールで映画「二宮金次郎」の上映会を行ないました。雪の混じる悪天候ではございましたが、午前と午後 2 回上映をしまして合計約 250 人の方にご来場いただきました。アンケートは集計中ではありますが、アンケートの中では「久しぶりに映画観ることができた」ですとか、「学生のときに銅像で見た金次郎さんがその後こういうなかたちで生涯を過ごしたのかと感動した」という意見もありましたけれども、その一方で「思ったより難しかった」とか「ストーリーが単純であった」という意見もございました。アンケートの結果がまとまりましたらまたご報告させていただきます。以上です。

○山田教育長 他、ございませんか。

○池端館長 図書館の方から学習室の開放についてご報告させていただきます。来月の中旬より長らく閉鎖しておりました図書館の学習室の使用を再開したいと考えております。これまで中央図書館の 2 階の部屋を学習室として使用しておりましたが、今回は感染対策と防犯上の対策を考慮しまして、1 階にある会議室を学習室として使用したいと考えております。そのため貸し会議室の予約のある日は学習室としての使用はできないこととなりますが、館内掲示やホームページ等で事前にお知らせしたいと考えております。学習室の使用にあたりましては、新型コロナウイルスの感染対策を行なうため、午前と午後の 2 部制をとりまして、使用者の入れ替え、そして間の時間には机等の消毒を行うこととしております。なおこちらの学習室の利用は山中図書館では行わないということにしております。また新型コロナウイルスの感染者の状況によりましては、学習室の使用を中止するということも今後あり得るということもお伝えしておきます。正式な再開日は未定ですので、準備が出来次第、使用を開始してまいります。以上です。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

今の 2 件の報告について何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 「二宮金次郎」の映画について、私自身、久しぶりに感動した素晴らしい映画だったと感じております。ただ私の印象では、このお知らせが唐突にきたなと思っていました。例えば前回の定例会で来月このような上映会がありますとか、お知らせがあると思っていました。いろんな諸事情があったんだと思いますが、なぜもっと前からわかっていたのかお聞きしたいです。

○山田教育長 上出課長、お願いします。

○**上出課長** 映画については、今年度で予算付けがございまして準備はしていたんですけども、新型コロナウイルスの感染拡大がありまして、確か11月頃まで蔓延防止があったかと思えます。いつできるかと考えながら、日程を調べておりまして12月18日にできないかということで進めておりました。直近でいうと11月の末に定例会がありましたけれども、そのときにできるかできないかというのがギリギリの状況で、できると踏み切ったのが12月に入ってからでございます。ですので、委員の皆さんには事前にお伝えすることができなくて、失礼ではございますが、お手紙を送って周知させていただいたかたちになります。公民館の方にも別途お手紙を送りました。あと周知したところはいきいき健康クラブですとか、かもまる講座でよく使っている団体の方にはまた別にお手紙を送って周知いたしました。

○**篠原委員** せっくなので子ども達に、特に感受性の豊かな中学生くらいの子供達に見せてあげたらもっとよかったのにねと話しておりました。二宮金次郎の銅像が各学校にあるんですが、なぜ銅像があるのかというの若い先生方も知らないと思うんです。あの映画を教員の先生方にも見てほしかったなど、もっと言えば中学生にも見てほしかったなど。ぜひまたこういう機会がありましたら幅広い年齢層に周知できる取り組みをお願いしたいと思います。

○**山田教育長** 他、ございませんか。

○**山下委員** お役所仕事のということになってしまうんです。目的は何だったのかなど。やりましたではなくて、目的が二宮金次郎を知ってほしいならもう少し周知の時間があったり、期間を長くしたりして考えていただきたいです。先般の8ミリフィルムもそうですが、やりました、だとお役所仕事と言われてしまうんです。そうではなくて、市民の方に知っていただきたいという目標があるのならば、もう少し違うやり方があったのかなという、少し厳しい意見をさせていただきますまして今後のご参考にさせていただければと思います。

○**山田教育長** 他、ございませんか。よろしいですか。

以上で報告事項は終わりました。その他ということで何かございますでしょうか。

○**篠原委員** 以前の定例会でもお願いをしていたと思うんですが、いわゆる市長さんを交えた総合教育会議がずっと開催されていません。今年度から来年度に向けては教育目標の変更も絡んでくるんだと思うんですが、そのことも踏まえて年度内で結構ですから、一度は総合教育会議を開いていただけないだろうか。市長さんはいつも教育は私の施策において極めて重要だということを常に強調なさっています。新たに3期目として就任されましたので、市長さんの思いとか、あるいは加賀市の教育の現状などの意見交換とか、今後の目標設定のこととか、いろんな課題があると思っております。そういうことについての会議を今年度中に開いていただきたいというお願いと、その状況はどうなっているのかということもお伺いしたいです。

○**山田教育長** 大綱の現状と総合教育会議の開催予定について、宮永次長、お願いします。

○**宮永次長** おっしゃる通りで、私も4月に着任してから今年度で開催するというところで、先日の局内会議の中でも教育長の方から今年度内に開催するという話もあったくらいで、事務局の中では年度内には必ずやらないといけないと考えております。大綱の方も今までにないような今のこういった社会状況を踏まえる中での新しい教育体制、そういったところも加賀市と包括連携しております Teach For Japan という民間の教育の組織とも相談しながらというところで、改めてもう少し固まってから委員の皆様にもご審議していただく中でご意見をいただいているところです。会議の方は年度内には必ず開催したいと思います。よろしくお願ひいたし

ます。

○篠原委員 ありがとうございます。安心いたしました。年度内に開いていただくということで嬉しく思っております。今、教育大綱についても Teach For Japan という組織と連携しながら新たな斬新なものを作っているということで、例えば従来みたいにいわゆる学識経験者みたいな方を委員長にしてという、そういうかたちではないんじゃないかと考えております。適宜いろんな会議等も進められていると思うんですが、かたちになったものでなくても結構ですから、今こんな段階でこういう状況で進んでいるとか、大きな狙いはこういうところだとか、従来のもんとかいうところを変えていこうと思っているとか、少しでもいいのでそういった情報を提供していただけると有難いと思います。出来上がったものをどうですかと言われてたらなかなか意見が言いづらんです。ですから途中で結構ですので、教えていただけたら嬉しいです。以上です。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは次回教育委員会定例会日程について宮永次長お願いいたします。

- 次回教育委員会定例会日程について
宮永次長 説明

○山田教育長 それでは1月25日火曜日、1時半からということで予定に入れておいてください。

以上で第12回教育委員会定例会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。